



# サービス業の業況感、改善傾向を示すも 仕入単価上昇への対応が課題

令和5年7～9月 中小企業景況調査 結果報告書

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

令和5年7～9月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率61.0%

## 【主要な表現について】

○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断。

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

## 管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：全産業での業況は、DI値▲1.7で前回(2023年4月～6月)より8.9ポイント増加しました。

サービス業前回▲7.4ポイントから今回20.0ポイントに増加しました。

全産業売上高の推移：前回0.8ポイント(2023年4月～6月)から13.4ポイント増加しました。

製造業36.0ポイント、サービス業34.6ポイントで改善傾向を示しました。

全産業資金繰りの動向：前回▲0.8ポイント(2023年4月～6月)から0.8ポイント増加しました。

全産業足踏み状態を示しました。

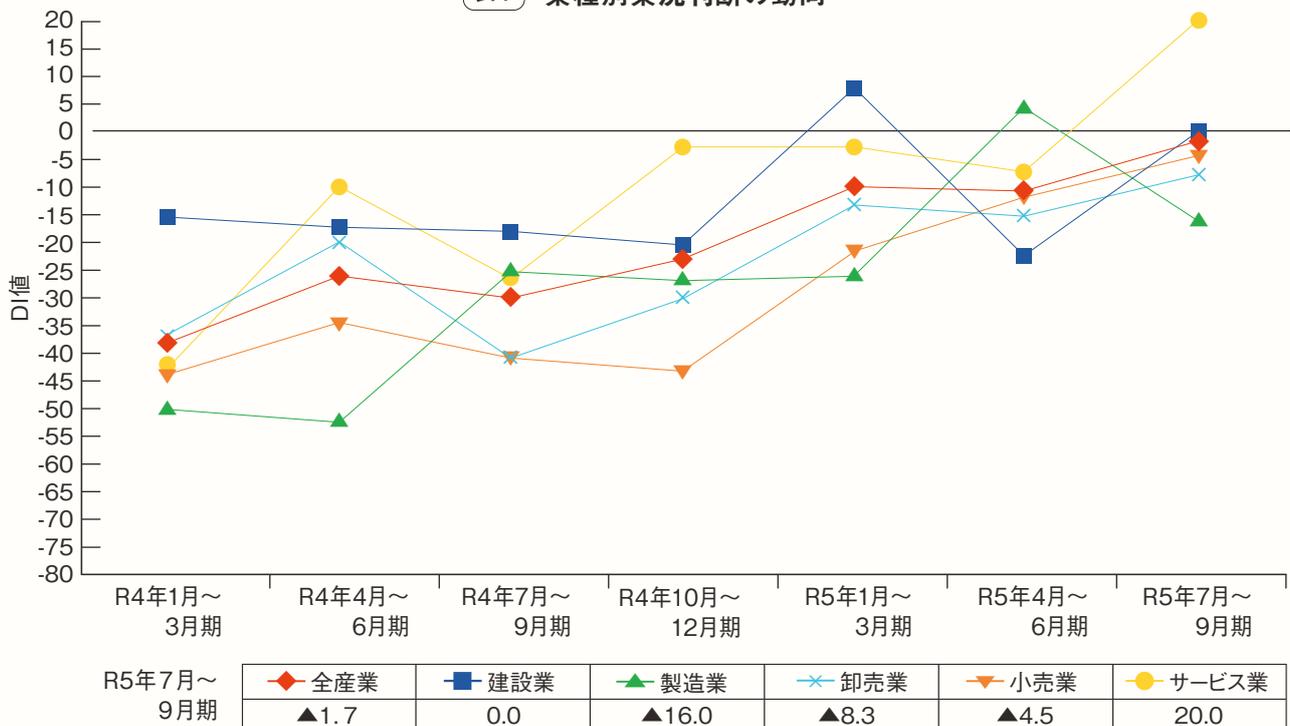
全産業採算の動向：前回▲21.3ポイント(2023年4月～6月)から6.2ポイント増加しました。

サービス業16.0ポイントで改善傾向を示しました。

全産業雇用人員の動向：前回3.4ポイント(2023年1月～3月)から0.9ポイント減少しました。

建設業で人手不足感が増しました。

表1 業種別業況判断の動向



問合せ先 藤枝商工会議所 経営支援課 TEL: 054-641-2000